

令和3年度 学校評価書 (計画段階(実施段階))

福岡県立八幡高等学校

自己評価
学校運営計画(4月)
学校運営方針
「知恵と工夫でコロナ禍を乗り越え、伝統を継承しながらしなやかに時代を見据えた学科改革に挑戦するとともに、ICTを活用した新たな学びの在り方を模索し、学校の活性化と生徒の能力の伸張を図る」
昨年度の成果と課題
年度重点目標
具体的目標
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学年閉鎖や学級閉鎖の措置をとったが、オンライン授業を実施することによりその後の授業においてもICTを活用した新たな学びの在り方を模索する契機となった。また、様々な学校行事が例年と異なる形態での実施となったが、行事の意義や目的を再確認しながら職員・生徒全員の力を結集して、着実に成功に導いていくことができた。特に生徒にとっては困難に直面しても様々な工夫をすることによって実施できたことは、将来を生き抜く力の向上にも繋がった。また、他教科との連携を図って教科科目横断型授業を積極的に行ったが、本校を目指す理由に上げる生徒もおり、本校の魅力の一つとして今後は一層充実したものとなるように全教職員の共通認識のもと推進したい。学校を取り巻く環境も年々変わっており、時代を見据えた諸改革の挑戦を行うことによって、更なる飛躍を目指したい。本年度の重点目標の中に「感染症に打ち克つ教育活動の展開」を掲げた。新型コロナウイルスの猛威に対し、命、安全、健康を第一にしながら、全職員で知恵を絞り、工夫を凝らして限られた環境の中で最大限の教育効果を上げ、生徒・保護者から信頼されるよう教育活動を展開したい。

学校関係者評価
自己評価は
A: 適切である
B: 概ね適切である
C: やや適切である
D: 不適切である

評価項目
具体的目標
具体的方策
評価(3月)
次年度の主な課題
教科指導の充実と特色ある学校づくりの推進
自己指導能力育成を目指した生徒指導
志の育成と進路指導
教員の資質・能力の向上

項目ごとの評価
学校関係者評価委員会からの意見
教科科目横断型授業の充実やICT機器の積極的な活用を組織的に取り組んでおり、生徒が主体的・意欲的に学習活動を行っている。令和4年度入学生から実施される観点別評価を効果的に活用し更なる教育活動の充実を図ってほしい。

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

- 本校を志願する中学生が多くいるが、教育活動の更なる充実を図るとともに広報活動を積極的に行い、本校の魅力をアピールしたい。
教科科目横断型授業、探究活動の充実を図るために、より組織的に継続的に実施できる体制を強化する。
コロナ禍で学校行事を縮小したり、実施時期を変更したりして行ったが、今後も工夫を凝らして行いたい。また、コロナが収束したときに、従来の形態で学校行事ができるとともに本校の伝統が継承できるようにしたい。
不登校の生徒が増えてきているので、効果的な助言ができるように組織的に取り組むとともに、外部機関との連携を強化したい。

評価項目以外のものに関する意見
学校外の様々な活動に主体的・積極的に取り組む生徒が増えており教育活動が充実していると考えられる。今後も生徒の主体性を育む指導を行ってほしい。